

鴨居地区

鴨居地区別計画推進委員会

地域 鴨居1～7丁目、鴨居町

区の東側に位置し、北側に鶴見川を挟んで都筑区、南側は神奈川区、保土ヶ谷区に隣接する南北に長い地区である。地区北部には鴨居駅があり、駅を中心に商店街、医療機関が密集しており、南側には丘陵状に住宅地が広がっている。駅周辺は平地だが、他は起伏に富む地形。

地域ケアプラザをはじめ、障がい者の地域作業所、通所施設など福祉施設が多い。

<主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

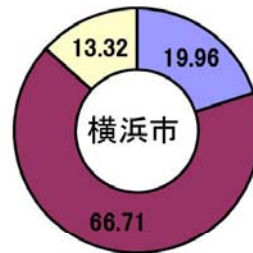
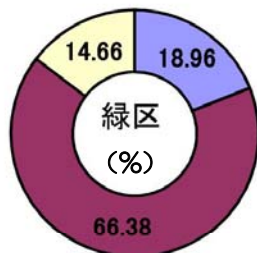
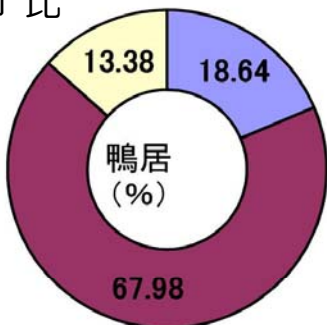
震災時避難場所（地域防災拠点）：鴨居小学校、緑小学校、東鴨居中学校（東本郷地区と共有）

地域ケアプラザ等：横浜市鴨居地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

平成23年(2011年)9月末

人口比

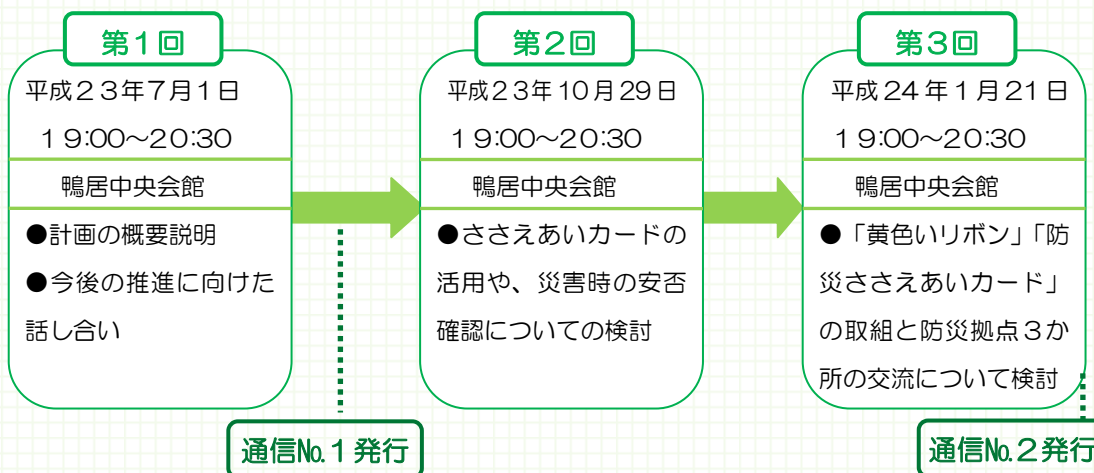


75歳～	1,094人
65～74歳	1,775人
15～64歳	10,463人
6～14歳	1,227人
0～5歳	833人
合計	15,392人

75歳～	14,370人
65～74歳	19,186人
15～64歳	117,467人
6～14歳	16,000人
0～5歳	9,942人
合計	176,965人

75歳～	336,653人
65～74歳	403,089人
15～64歳	2,472,006人
6～14歳	300,920人
0～5歳	192,789人
合計	3,705,457人

地区別計画推進委員会の開催状況



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成23年度地区別計画推進状況



鴨居地区



**地域の『つながり』を大切にし、
安心・安全・健康のまちづくりを目指します**

黄色いリボンの取り組みを進めています。

災害時の安否確認に役立てる取り組みを自治会と地区社会福祉協議会が中心となり進めています。リボンは自治会や鴨居中・東鴨居中の生徒、PTAの協力を得て手づくりで作成しています。最初に、緑小学校地域防災拠点のエリアで配付し、防災訓練等で活用しながら地域のつながりや安全対策を推進していきます。

災害発生時に自分や家族の安全を確保した後、『黄色いリボン』を結びましょう。



生徒さんによる作業風景

「うちは大丈夫！」近所の人を助けて！



(写真：玄関に取り付けた様子)

回覧

鴨居防災ささえあいカードの配布と回収のお知らせ

次年度へつなぐ

災害時の受け皿

「鴨居防災ささえあいカード」について

会員 近長 理事 会長 民生

鴨居防災ささえあいカード

氏名	住所	電話番号	備考
山田 太郎	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5678	
田中 花子	〒100-0002 東京都千代田区千代田2-2-2	03-2345-6789	
佐藤 一郎	〒100-0003 東京都千代田区千代田3-3-3	03-3456-7890	
鈴木 美咲	〒100-0004 東京都千代田区千代田4-4-4	03-4567-8901	
高橋 健太	〒100-0005 東京都千代田区千代田5-5-5	03-5678-9012	

『安心・安全・健康』のまちづくりのために！

今年で7回目となる「鴨居防災ささえあいカード」を、災害時以外にも有効活用できるよう、内容や利用方法に工夫を加え、今回から新しいカードを配付します。

(写真：「鴨居防災ささえあいカード」)

平成24年度は、「鴨居防災ささえあいカード」の取り組みと合わせて、「黄色いリボン」を作成し、防災訓練等で活用するとともに、「いきいきサロンの活動も通じて、安心・安全・健康のまちづくりを皆様の協力で進めていきます。

鴨居地区別計画推進委員会



鴨居地区別計画推進委員会
平成23年8月発行

鴨居地区別計画推進委員会通信 No.1

「第1回みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画推進委員会」を開催

みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画の推進に向け話し合いを行いました。

～平成23年7月1日（金）午後7時～8時30分 鴨居中央会館～

★鴨居地区別計画推進委員会とは…

鴨居地区の自治会や福祉保健団体などの代表24名がメンバーとなり、「みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行う委員会です。



★みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画とは…

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民の方々や団体、事業所、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所等が協働で取り組む計画です。

その中でも「地区別計画」は、身近な地域の日々の暮らしの中で起きている課題の解決に向け、取り組むための計画です。鴨居地区においては、鴨居地区別計画策定委員会が中心となって話し合いを重ね、平成23年3月に「鴨居地区別計画」を策定しました。

～地区別計画の目標～

「『安心・安全・健康』のまちづくり」のために

【具体的取り組み】

- 防災ささえあいカードの活用方法について、引き続き、連合自治会、地区民児協、地区社協、地域防災拠点等で検討したい。（個人情報に配慮した一覧表の作成等）
- 鴨居地区の防災拠点3か所が連携し、活用方法について検討します。
- 災害時に「援護が出来る人」の情報を収集することで、誰もが手を差し伸べる環境を作りたい。

地域での『つながり』を大切に、地域における後継者を育成するために

【具体的取り組み】

- 鴨居の魅力について、パネル展示や鴨居再発見ウォークラリーをするなどして地域に情報発信していきたい。
- 自治会加入の促進について、区と自治会で工夫を重ねていきたい。
- あいさつ運動やいきいきサロンなどの活動を通じて、地域でのつながりを作りたい。
- イベント等を企画・運営できる若い人材を、各団体で育成していきます。
- 各単位自治会がそれぞれの活動を出し合って、情報交換し良い取り組みを共有したい。
- 鴨居福祉まつり、わくわくキャンプ、鴨居盆踊りなどの活動を若い人と一緒に行うことで、担い手・後継者を育成したい。



第1回鴨居地区別計画推進委員会にて話し合われた内容をご紹介します！

～みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画について活発に意見が交わされました～

- ・「ささえ愛プラン」と「防災ささえあいカード」は、名称が似ているため、混同している人が多い。
- ・「防災ささえあいカード」は6回目の更新を迎えたいぶ浸透してきている。さらに活動内容を深めていきたい。
- ・ささえあいは、ここところのつながりであり、地域でのつながりにも発展していく。
- ・一人ひとりが考えれば、やるべき事は見つかる、皆で決めれば今後の活動につながる。
- ・若い世代の人たちも地域活動に参加し、個々・団体の地域活動は活発に行われている。
- ・今回の地震では、鴨居でも不安の感じ方に個人差が大きかった、防災拠点の役割の再確認が必要。また、鴨居のローカル情報の必要性を感じた。
- ・鴨居は、まとまりがよい地区なのでプランの広報活動をすることにより効果が上がるのではないかな。
- ・地域行事あるごとに基本理念を繰り返し説明・PRしていくことが大事。
- ・小さなことでもテーマを1つに絞って推進すれば、大きなつながりになるのではないかな。
- ・みどりのわ・ささえ愛プランを推進すると鴨居がどう変わるのか。

～ まとめ ～

- ★ささえ愛プランを鴨居の人に浸透するために、各地域の活動で積極的にPRすることが必要。
イベント開催時や、いきいきサロン鴨居の活動時などを活用してはどうか。
- ★5年後の鴨居の姿を描きながら計画を推進していくことが大事。
プランを推進することのメリットを明確にすることが重要。
- ★震災で不安のあった、情報収集・伝達などの体制づくりが、地域の「つながり」になるのでは。

・次回の委員会は10月ごろ開催の予定です。



【鴨居地区別計画推進委員】

石川伸、岡本幸美、織裳秀次、加藤久子、香川清次郎、狩野陽二
木村昶、国井富栄、黒滝剛、小池邦仁、小宮山政行、酒谷英一
佐藤康二、島田敏夫、下田光男、庄司登志子、照屋富士夫、中野隆
中野玲子、中原公夫、野沢真二、廣野達衛、○柳下利一、吉川晃
(五十音順、敬称略、○:委員長)

【連絡先】

鴨居地区別計画推進委員会
事務局 TEL: 930-2246
緑区 戸籍課長



鴨居地区別計画推進委員会

平成24年3月発行

鴨居地区別計画推進委員会通信 No.2

「第3回みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画推進委員会」を開催しました

〔平成24年1月21日（土）19時～8時30分 鴨居中央会館〕
みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画の推進に向け
話し合いを行いました。
地域の皆さん、是非ご覧ください！



★鴨居地区別計画推進委員会とは…

鴨居地区の自治会や福祉保健団体などの代表で23年度第3回から25名がメンバーとなり、「みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行う委員会です。

★みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画とは…

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民の方々や団体、事業所、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所等が協働で取り組む計画です。

その中でも「地区別計画」は、身近な地域の日々の暮らしの中で起きている課題の解決に向け、取り組むための計画です。鴨居地区においては、鴨居地区別計画策定委員会が中心となって話し合いを重ね、平成23年3月に「鴨居地区別計画」を策定しました。

<地区別計画の目標>

『「安心・安全・健康」のまちづくり』のために

【具体的取り組み】

- 防災ささえあいカードの活用方法について、引き続き、連合自治会、地区民児協、地区社協、地域防災拠点等で検討したい。（個人情報に配慮した一覧表の作成等）
- 鴨居地区の防災拠点3か所が連携し、活用方法について検討します。
- 災害時に「援護が出来る人」の情報を収集することで、誰もが手を差し伸べる環境を作りたい。

地域での『つながり』を大切に、地域における後継者を育成するために

【具体的取り組み】

- 鴨居の魅力について、パネル展示や鴨居再発見ウォークラリーをするなどして地域に情報発信していきたい。
- 自治会加入の促進について、区と自治会で工夫を重ねていきたい。
- あいさつ運動やいきいきサロンなどの活動を通じて、地域でのつながりを作りたい。
- イベント等を企画・運営できる若い人材を、各団体で育成していきます。
- 各单位自治会がそれぞれの活動を出し合って、情報交換し良い取り組みを共有したい。
- 鴨居福祉まつり、わくわくキャンプ、鴨居盆踊りなどの活動を若い人と一緒に行うことで、担い手・後継者を育成したい。

【前回までの流れ】

第2回鴨居地区別計画推進委員会（平成23年10月29日開催）での意見交換の結果、以下の3点について取り組むことにしました。

- （1）黄色いリボンの取り組み
- （2）防災ささえあいカードの取り組み
- （3）防災拠点3か所の交流について



第3回鴨居地区別計画推進委員会にて話し合われた内容をご紹介します

（1）黄色いリボンの取り組み

- ・災害時の安否確認に役立てるため、「黄色いリボン」を各世帯に配布し、迅速な支援に活用していく。
- ・大きい布を裁断するのに手間がかかるが、中学生や地域の方に作成を協力してもらうことにより事業への関心が高まりリボンを大切にもらえる。
- ・「無事だから掲出」の意味を確認するためにも、「OK かもい」の文字を入れたほうが良い。
- ・発災時に目立つように掲出場所を統一する必要がある。玄関のドアノブとしたい。
- ・自治会未加入世帯まで含めるのは難しいので、当面自治会加入世帯を優先する。
- ・黄色いリボンの取り組みを活用して地域や自治会活動の重要性を理解してもらい、自治会加入率を高められるようにしていけば良い。

（2）防災ささえあいカードの取り組み

- ・防災ささえあいカードは、防災拠点の金庫に保管しており、更新の時期が近づいている。今回は少し手を加え、利用しやすいものにしていく。
- ・個人情報の簡素化や本人同意の内容を工夫したものに変わっていければよい。
- ・本人の同意を確認する項目を設け、情報共有ができるようにする。

（3）防災拠点3か所の交流について

- ・防災拠点の会長どうして話し合い、自治会長の中でまとまってから進めてはどうか。

～ まとめ ～

- ★黄色いリボンの取り組みは、最初に緑小学校地域防災拠点のエリアで配布し、防災拠点の訓練等で活用する。
- ★防災ささえあいカードについては、記載内容や利用方法に工夫を加え更新する。
- ★防災拠点3か所の交流については、推進する方向で引き続き話し合いをする。

【鴨居地区別計画推進委員】

石川伸、岡本幸美、織裳秀次、香川清次郎、加藤久子、狩野陽二、木村昶、国井富栄、黒滝剛、小池邦仁、小宮山政行、齋藤恵子、酒谷英一、佐藤康二、島田敏夫、下田光男、庄司登志子、照屋富士夫、中野隆、中野玲子、中原公夫、野沢真二、廣野達衛、○柳下利一、吉川晃（五十音順、敬称略、○:委員長）

<連絡先>

鴨居地区別計画推進委員会
事務局 TEL: 930-2246
緑区 戸籍課長